

## 巻頭言

会員の皆様、PCP NewsletterアドバンスNo.28をお届けします。

2020年は、新型コロナウイルスの感染拡大や様々な自然災害により、会員の皆様の中にも生活に支障を来した方がいらっしゃると思います。心から、お見舞い申し上げます。更に、病院等で発生したクラスターにより大変な苦勞をされている医療従事者の方々や、感染対策に尽力されている方々に敬意を表します。

この様な状況の中、今年度は多くの学会、講習会、研究会が中止となりました。しかし、IT技術の進歩により、WEB上で開催することが可能となり、多くの学会、講習会、研究会がWEB開催されています。残念ながら、今年度の上半期のPCP研究会のブロック講演会は中止となりましたが、今後のブロック講演会の開催に向けて準備を進めています。これまで、PCP研究会のブロック講演会は、地域の特性を生かしたものとして有効に機能してきたかと思えます。しかし、今回の経験を踏まえ、ブロック講演会もWEB使用と対面式のハイブリッド形式での開催を検討しており、全国の会員の皆様が、ブロックの壁を越えて、自由に興味のある講演会に参加できるようになるよう検討しています。

第4回日本精神薬学会総会・学術集会も第50回日本神経精神薬理学会年会、第42回日本生物学的精神医学会年会という歴史ある学会との合同年会(NPBPPP2020)という形で仙台にて開催する予定でしたが、検討の結果WEB開催となりました。今後、新型コロナウイルス感染症が終息し、会員の皆様と実際にお会いしての学会が開催されることを強く望む共に、新たな開催形式を上手く組み込んで、より良い学会のかたち形成されることも期待されます。また、来年度の第5回日本精神薬学会総会・学術集会は、単独開催ですが、福岡での開催を予定しています。是非多くの会員の皆様に参加していただけるようお願い申し上げます。

また、今後も出来る限り、会員の皆様の日々の業務や研究推進のためにPCP研究会を運営していきたいと考えていますので、ご期待下さい。

代表世話人 吉尾 隆

## 2020年度全国処方調査協力依頼

PCP研究会では、本邦の統合失調症に対する処方実態・動向を把握するため、2006年以降毎年処方調査を行っています。昨年度の調査では、87施設より入院患者のデータ(11,589例)を、また56施設より外来患者のデータ(6,111例)をご提供いただきました。業務繁多にも拘らずご協力いただきました先生方、改めてお礼申し上げます。

さて、今年は、入院は10/31(土)、外来は10/19(月)～10/23日(金)に受診した患者について、処方調査を行います。今回、新たな調査項目はございませんが、コロナ渦での対応について、後日アンケート調査を行うことになりました。参加を希望されるご施設は、メールにて事務局までご連絡ください。

PCP調査委員会 宇野 準二

テーマ:精神科におけるSDM(Shared Decision Making)の位置づけと薬剤師の役割

ブロック	開催地	開催日	特別講演	ワークショップ 症例検討	追加プログラム (病院紹介/ショートレクチャー)	参加人数
東北	盛岡	10月27日	堀 輝 (産業医科大学)	堀 輝 (産業医科大学)	-	32
				小柳康弘 (若宮病院)		
関東・甲信越	千葉	2月2日	金原信久 (千葉大学)	小泉輝樹 (下総精神医療センター)	古原大司・増田由佳子 (しのだの森ホスピタル)	16
東海	名古屋	2月9日	窪田幸久 (中央公園クリニック)	窪田幸久 (中央公園クリニック)	田中純子 (鈴鹿厚生病院)	34
				中村友喜 (県立こころの医療センター)		
中国・四国	徳島	1月26日	井上秀之 (むつみホスピタル)	中村公哉 (むつみホスピタル)	宮守佑次 (徳島赤十字病院)	19
九州	沖縄	2月16日	外間宏人 (沖縄中央病院)	大田一木 (天久台病院)	森下彰久 (新垣病院)	25

上記以外のブロックは、開催中止となりました。

先生方のお名前は敬称略で記載させて頂いております。

## 学会報告—第4回日本精神薬学会総会・学術総会 (2020年8月21~23日)

日本精神薬学会総会・学術集会も第4回大会を迎え、今年の開催地は仙台ということで、昨年の今頃は厚切り牛タンのことばかり考えていましたが、まさかまさかのWeb開催！今年、学術集会としては、わずか4回目の学会が「レジリエントな心をつくる」という大会テーマの元、他の2つの大きな学会と合同年會を開催することに、何となく誇らしい気持ちでいただけに、現地開催ができなかったことは正直残念でした。しかしながら、初めてWebでの学会を経験してみて、メリットを感じることもありました。

まず、現地開催の場合、見たい発表や講演でも時間が重複していれば「どっちにしよう・・・」ということになりますが、オンデマンドならそのようなことはありませんし、24時間自分の都合のいい時間帯に視聴できます。また、視聴中「あ、いまのスライドもうちょっと見たかった・・・」と思えば、後ろに戻って見ることができるのも、オンデマンドの強みだと思います。あるいは、日本精神薬学会の場合、参加費がこれまでの現地開催時よりも低額だったことと、現地までの交通費や宿泊費が必要なかったことも、遠くから参加される方にとってはメリットだったと思います。

では、今後もずっとWeb開催でいいかと問われると・・・私自身としては、やっぱり首からネームホルダーをぶら下げて現地会場の雰囲気を感じながら、演者の方々とやり取りしたり、普段は会うことがない同志と再会したり、初めての方々と知り合うことができたり、夜は地元の美味しいお酒で乾杯したいなあと・・・やっぱり現地開催を選びたいと思います。ただ、例年参加したくても、それぞれの事情で参加を諦められる方もいらっしゃると思いますので、現地開催とWeb開催を併用するハイブリッド方式が、今後の開催のかたちとしては好ましいのかもしれない。

来年の第5回学術集会は福岡開催の予定になっています。その時、日本や世界がどうなっているのか予測ができませんが、1日も早い感染の終息を祈りつつ、現地で盛大に開催されることを願います。

中国・四国ブロック世話人 北川航平



## 2020年 WITH・コロナ（医療法人爽神堂 七山病院）

新型コロナウイルスは世界中でパンデミックとなっており、日本では今年の1月28日に初の感染者を認め、現在は「第3波」に入っているとの報道が行われている。精神科病院での感染も3月以降、全国で確認されている。

このウイルスはインフルエンザより感染力が強く、高齢者を除けば症状が比較的軽い、軽症や無症状者が多いため自身の感染に気づかずに行動することから、爆発的に増加するいわゆる集団感染（クラスター）を起こしやすい。精神科病院では重症化のリスクファクターと言われる、基礎疾患がある患者や高齢者が多いため、いかに感染者を出さないようにするかが最重要課題である。

すべての感染症がそうであるが、病院や施設では一人目の感染者をいかに早く見つけるかがポイントで、特にこのウイルスは感染力が強いことから、1日遅れるとネズミ算のように感染者が増加するので、健康観察が重要となる。特徴的な症状は風邪様症状と言われ、確定診断はPCR検査と抗原検査だけなので感染者を見つけることが容易ではない。発熱は指標の一つにはなるので、当院（七山病院）では職員も1日3回の検温を実施している。ワクチンも抗ウイルス剤も無いため、現在は手指消毒とマスク着用が感染防止対策と言える。今後の研究とワクチンや薬剤の開発に期待するばかりである。

近畿ブロック世話人 本多 智子

## 東北ブロックおよび関係者の皆様へ

私は、2005年のPCP研究会発足時から東北ブロックの世話人を担当しておりましたが、諸般の事情により、2020年1月から東北を離れ、母校である昭和大学の教育職員へ転職することになりました。現在、精神科単科病院の昭和大学附属烏山病院で臨床業務のほか、薬学生の精神医療実習等を担当しております。

谷藤弘淳先生とタッグを組んで行った東北ブロックでの講演会は、大都市圏にも劣らない盛り上がりで、私自身も毎回楽しみにしておりました。参加者の皆様、谷藤先生、後藤課長をはじめとする運営サポートの皆様方に対し、これまでのご愛顧を心より感謝申し上げます。今後は世話人から外れますが、東北ブロックの皆様方には、引き続きブロック講演会を大いに盛り上げて頂きたくお願い申し上げます。

（前）東北ブロック世話人 黒沢 雅広

## 第5回日本精神薬学会総会・学術集会のご案内

第5回日本精神薬学会総会・学術集会は、福岡県にて「Leap With thanks to our forerunners」（飛躍～先駆者たちに感謝して）をテーマにして開催されます。「飛躍」がテーマであり、これまで各先生方が取り組んできたことすべてが発表の対象ということです。多くの発表により自身の、また多くの先生方の飛躍の場となる事を期待しております。さらに、開催地は食の宝庫・福岡です。

集中して学術集会に参加した後は、美味しい物を腹いっぱい食べる。有意義な総会・学術集会になること間違いなしです。皆さん一緒に参加して福岡開催を盛り上げていきましょう。

北海道ブロック世話人 志田 雅彦

期 日：2021年8月21日（土）～22日（日）

会 場：アクロス福岡

福岡県福岡市中央区天神1丁目1番1号

大会長：神村 英利（福岡大学薬学部・福岡大学病院薬剤部）

URL：<https://www.jspp2021.org/index.html>

主催：一般社団法人 日本精神薬学会



## 2020 年度下期ブロック講演会開催（予定）のご案内

2020 年度下期ブロック講演会は、WEB 形式にて開催となります。参加方法や開催日につきましては、詳細が決まり次第ホームページにてお知らせいたしますので、ご確認ください。

## 今後のブロック講演会に関して

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、予定されていたブロック講演会が中止となった地区も多いと思います。先日、WEB 形式で行われた PCP 世話人会で決定した、今後のブロック講演会の運営についてご案内致します。

集合開催が可能と判断されるまでは、①ブロック講演会は WEB 形式で開催する。グループワークは基本的に行わず（ブロックの判断で開催することは可）、2 時間程度の講演のみとします。②参加費（年会費）は通常通り。③参加証と開催時間に応じた点数シールは付与します。

WEB 開催では、参加者同士の交流などがなかなか難しい状況だと思いますが、自宅にいながら遠方のブロック講演会にも容易に参加が出来るというメリットがあります。今こそ、このメリットを生かして、「全国ブロック講演会の旅」に出かけてみましょう。

ブロック世話人 黒沢 雅広

## 会費納入についてのお願い

平素は、当研究会の運営に多大なるご協力を頂き感謝いたします。

今年度も、4 月より会費の納入をお願いしておりますが、現在、新型コロナウイルスの感染拡大予防の観点から、多くの学会、講習会が中止、延期となっております。当研究会も 2019 年下期・2020 年度上期のブロック講演会中止ならびに前回ニュースレターの休止をいたしました。

今後は、さまざまな感染防止対策を講じたうえで、web によるブロック講演会の開催を予定しております。このような状況で、皆様からの会費の納入をお願いすることは、大変心苦しいのですが、当研究会を維持していくためには、会員の皆様のご理解とご協力が必要となります。

(事務局)

### 事務局 掲示板

#### ■ 2020 年度会費（2020 年 4 月～2021 年 3 月分、年会費：3000 円）

年会費は、年度初めに郵送いたします振込用紙にてご納付ください。未納の場合、WEB 講演会での単位シール等の取得が出来ない場合がございますのでご注意ください。参加される講演会開催前までにお振り込みにてお願いいたします。

【郵便局】口座名：精神科臨床薬学研究会 口座番号：00170-2-578959

\* 通信欄に、必ずご施設名、お名前、会員番号をご記入ください。

(会員番号が不明な方は、メールで事務局 (contact@pcp-rg.org) へお問合せください。)

#### ■ 講演会プログラム

講演会開催日 1 ヶ月前を目処に各講演会プログラムをホームページ < www.pcp-rg.org > に掲載しております。

#### ■ 特別講演 DVD

2019 年度下期、2020 年度上期の DVD はございません。バックナンバー(演題はホームページに掲載)の貸出しを希望される方は事務局までご連絡ください。

#### ■ 事務局連絡先

〒113-0031 東京都文京区根津 1-4-4 河内ビル5階  
株式会社青海社 内

E-mail : contact@pcp-rg.org (メールには必ず、1. 施設名、2. 氏名を記載して下さい。)

FAX : 03-5832-6126 URL : http://www.pcp-rg.org/

### 【編集後記】

なんと1年振りのアドバンスです。一時活動休止中だった PCP の再始動は、われわれ広報委員会にとっても嬉しいことです。この間、色々制限がある世の中になってしまいましたが、そのような中でも、今できることを精一杯やって、感染終息後には、また会場で笑顔でお会いしましょう。(K. K.)

